

## 令和4年度入学生 M・Mさん

### (1) 税理士の道を目指した理由

簿記検定資格を取得のために勉強を始めたところ、簿記の計算が楽しくなり、受験級を上げていくうちに「税理士試験」があることを知りました。

せっかくなら税理士試験も受けてみよう、まず受験資格を得ることからはじめ、本格的に試験へ向けて勉強をしていくなか、“税理士”という職業に興味をもち、目指すことを決めました。

また、税理士試験の勉強で得る知識と、税理士になった後での実務では差があることを知り、私は法学部出身ではなかったため、税理士になった後でも生かせる勉強をしたいと思って、税法1科目取得を機に、大学院進学を決めました。

### (2) 平成国際大学大学院を選んだ理由

少人数体制で指導を行っていることが最大の決め手でした。大学院選びの際、今まで論文を作成したことがない未経験者の私が無事に大学院を卒業できるのかな…と不安な気持ちだったのですが、入試説明会へオンライン参加したときに、説明会をご担当くださった金沢先生から、少人数で指導を行っていることや、私のように未経験者でも修士論文を完成させ、卒業できていることを聞いて、ここなら安心して通える！と思いました。

もちろん、自宅から通いやすいというのもありましたが、仮に平成国際大学大学院が都内にあったとしてもここに決めていたと思います。

### (3) 研究テーマについて

私の研究テーマは、「給与所得該当性の判断基準について」です。このテーマにした理由は、大学生のときに選択科目として受講した「税法」の講義のなかで、「弁護士顧問料事件」の裁判例をテーマにした講義にとっても興味をもったのがきっかけです。

### (4) 学びの中で、最も印象に残っているエピソード

金沢先生の第1回目の判例研究（レポート作成）は思い入れがあります。入学当時は、何もわからないなかでの論文の読み込みや、論理的に自分の主張をすることの難しさを痛感し、とても苦勞しましたが、先生のかまめなチェックとアドバイスのおかげで、段々とできるようになったときは本当に感動しました。苦勞してきた過程も含めて得たこの成功体験が、その後の講義を受けるうえで、自信にもつながりました。

## (5) 今後の目標

まずは修士論文を書き上げることと、修了後は、大学院で学んだことを生かしながら会計事務所で働いて、実務経験を積むことです。即戦力として活躍できる税理士になりたいです。

## (6) 受験生へ一言

仕事をしながら通う人がほとんどかと思われませんが、その中でのレポート作成や発表は辛いときもあるしやっぱり大変です。それでも大学院修了後には確実に現場で生かせるものになっていると私は思っています。無駄なものなんて一つもないというか、何のためにここで学ぶのか。この目的さえしっかりあれば大学院で学ぶことに意味があると思います。

私の場合、「少人数制」と「未経験者でも丁寧に指導してもらえる」という点で平成国際大学大学院を選んでいるので、自分に合った授業スタイルを考えて大学院を選んでいただけたらなと思います。